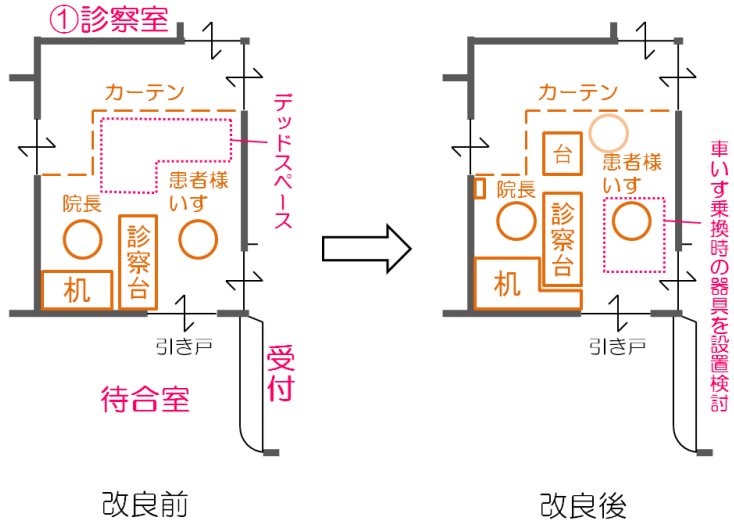


年末年始の休業期間を中心に診察室の大幅なレイアウト変更を行い、患者様の居心地の向上ならびに診察の能率向上を図りました。



① 患者様いす周囲のスペース拡大（再掲）

- ・患者様側のスペースを十分に広くしました。特に、入口引き戸との間を広げ、**車いす**ご利用時の利便性が向上しました。
（従来は、車いすを一旦室外に出すなど手間が必要でした）
- ・お付き添いの方の十分な居場所を確保するとともに、当院スタッフが受付側から介助等に入りやすくなりました。
- ・院長用の机を大型化し、院長の診療時の事務作業（パソコン入力、他院向け紹介状のご用意など）の能率化を図りました。
→待ち時間の短縮、患者様と向き合うお時間の拡大につなげます
- ・患者様の介助や院長の事務作業補助等を目的としたスタッフの常駐スペースを確保しました。

② 患者様への説明力の向上

- ・患者様ご説明用のパソコン画面を増設し、精密検査の結果を拡大表示することで、**説明力向上**を図りました。

今後はさらに細部の改良を続け、より良いレイアウトを目指します。

さらに、バリアフリー化の一環として、車いすから診察用椅子にお移りいただく際の**補助器具**の開発検討に着手します。

引き続き、より良い医療のため全力を尽くしてまいります。